

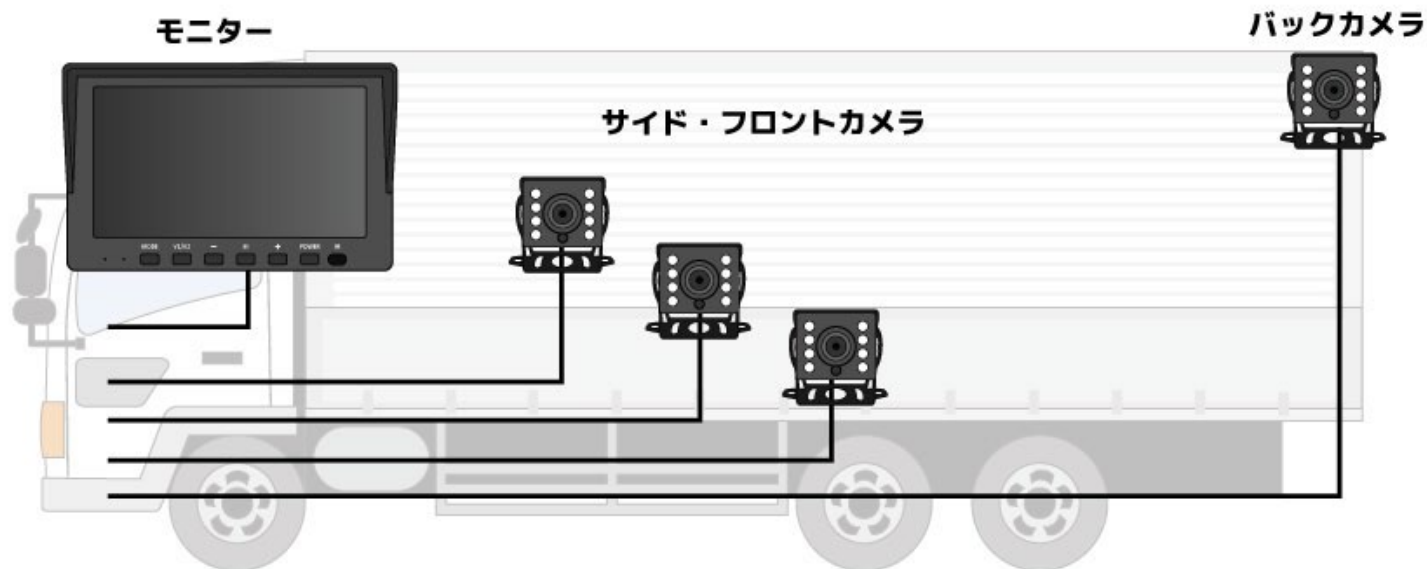
AI 機能 録画機能付 7 インチモニター 大型車用 200 万画素 ワイヤレス カメラセット

取扱説明書

型番 CAR-S-W-xCH

12V/24V 車用

このたびは、弊社商品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

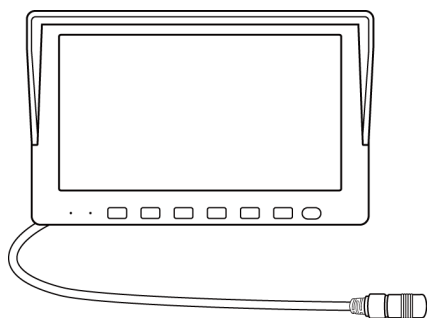


<特徴>

- トラックなどの大型車に取付けが可能
- ワイヤレスでカメラとモニターの配線不要なのでトレーラー等に設置が可能
- 100 万画素の高精細バック・サイドモニターセット
- 録画機能付 7 インチモニター

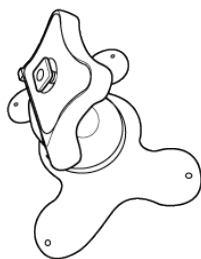
設置前に必ず動作確認をしてください

同梱品の確認



モニター

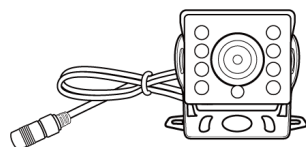
[>>操作・設置方法はこちら](#)



モニター用スタンド

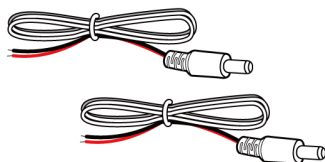


モニター用固定用
両面テープ



カメラ(1~4 個)

[>>操作・設置方法はこちら](#)

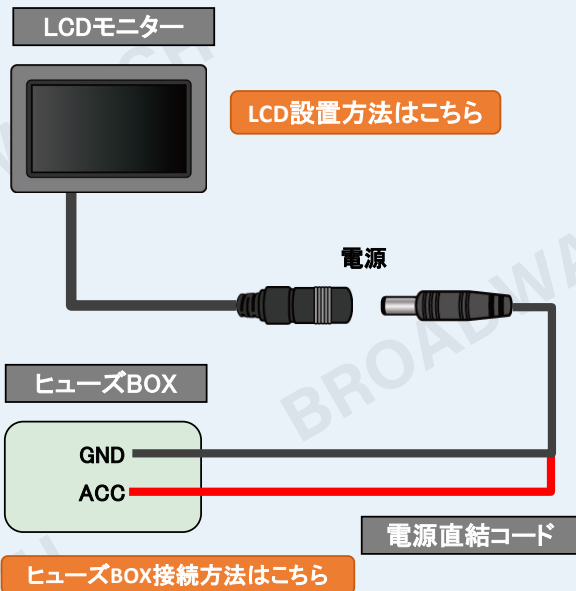


電源直結コード(2~5 本)

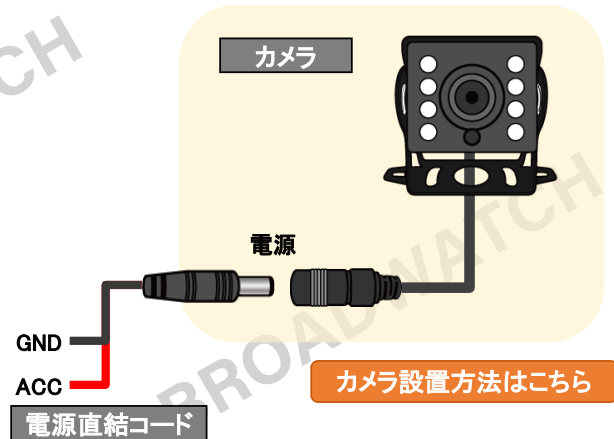
フロント・サイド・バックカメラの配線図(型番 CAR-S-W-xCH)

AI機能 録画機能付 7インチ ワイヤレスモニターセット

12V/24V車用

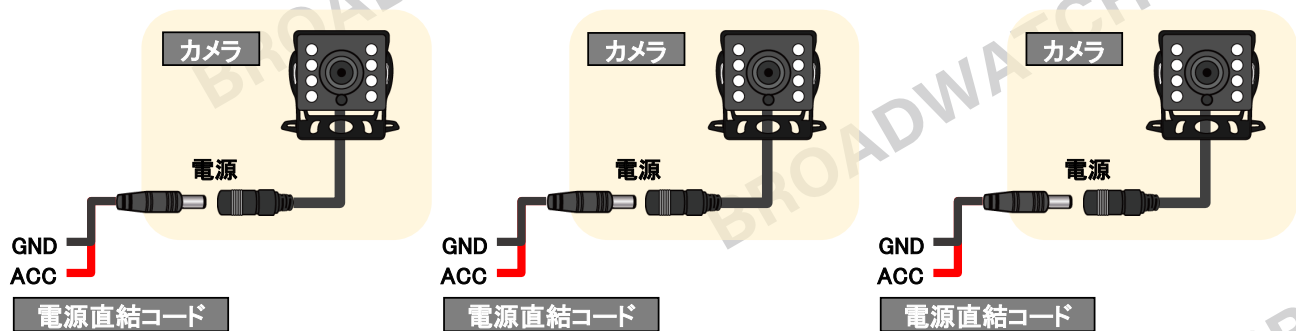


コネクタ部分は必要に応じ、防水処理や
固定処理を行ってください。



ヒューズBOXの代わりにカーシガー電源(別売)でも使用できます。

カメラを2～4台設置する場合は、同様に電源に接続してください。



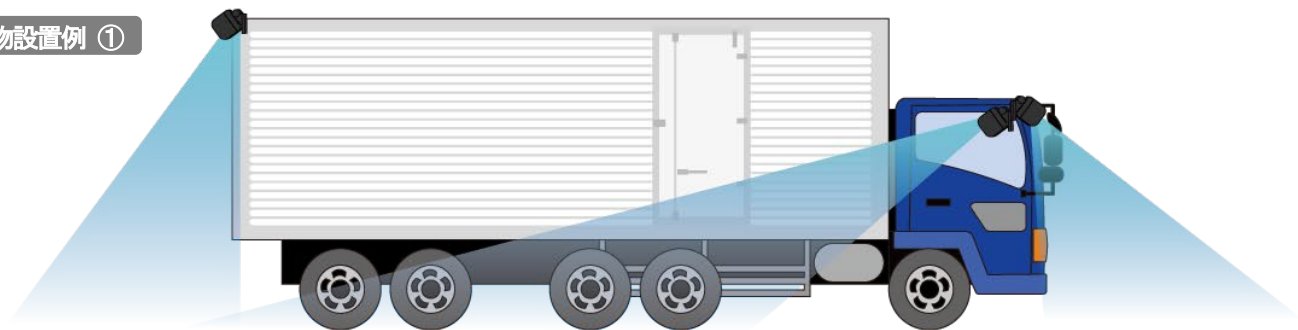
バックカメラの取付け方法

※仮設置をして、カメラの映像(向きや角度)を確認してから設置する位置を決めてください。

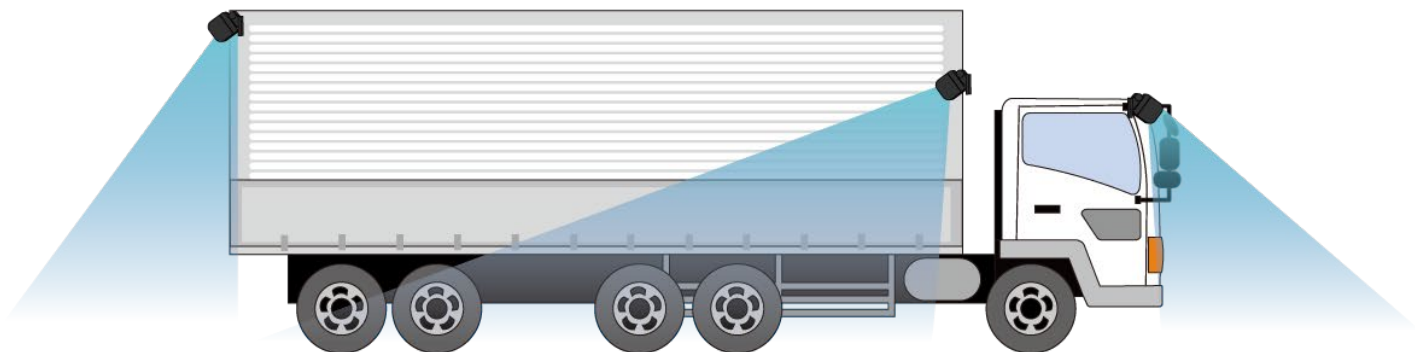
車外への取付け例

- 通常は前後左右に設置しますが、用途によって他の場所へ取付けることも可能です。(設置例参照)
- カメラの左右鏡像は、設定画面で個々に変更できます。

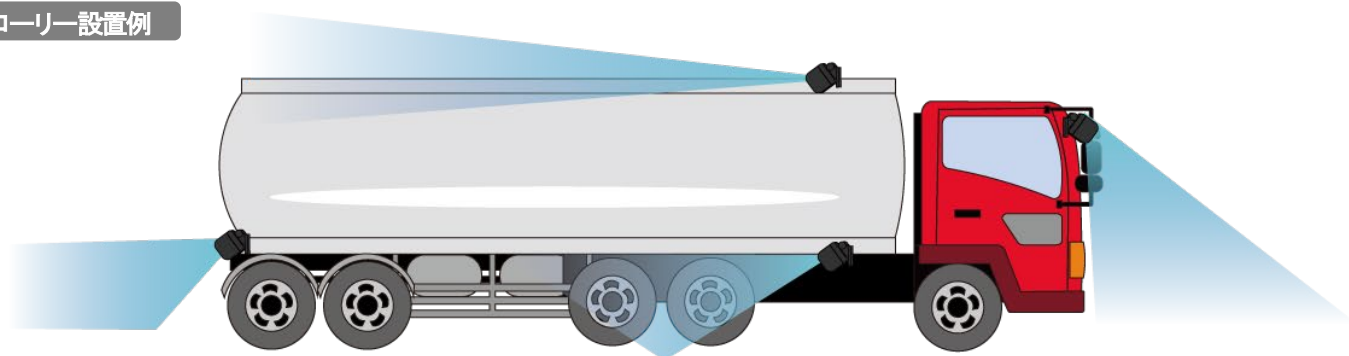
コンテナ貨物設置例 ①



コンテナ貨物設置例 ②



タンクローリー設置例

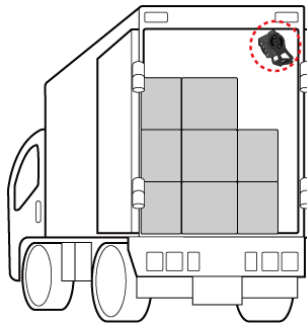


バス・スクールバス設置例



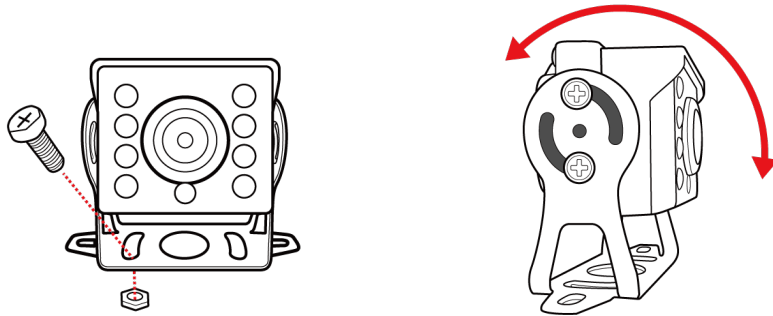
庫内への取付け例

赤外線 LED 搭載で、暗い場所でも確認ができます。
走行中の荷崩れなどの確認に便利です。



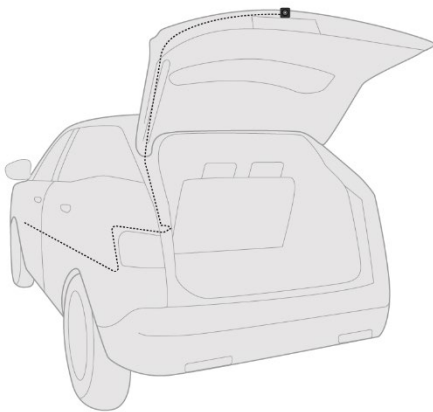
＜カメラの固定＞

カメラのスタンドをボルトとナットなどを用いて車体に固定します。
カメラのスタンド、カバーは角度の調節が可能です。



カメラケーブルの引き回し方法

- ・雨水などが侵入しないようにカメラのケーブルを引き込んでください。
- ・ドアやトランクの開閉でケーブルが引っ張られないように、ケーブルは余裕をもたせて引き回してください。
(※ケーブルの挟み込みにご注意ください。)
- ・カメラケーブルはアンテナ配線からできるだけ離して引き回してください。(テレビ・ラジオの音声にノイズが入ることがあります。)



ケーブルコネクタ部について

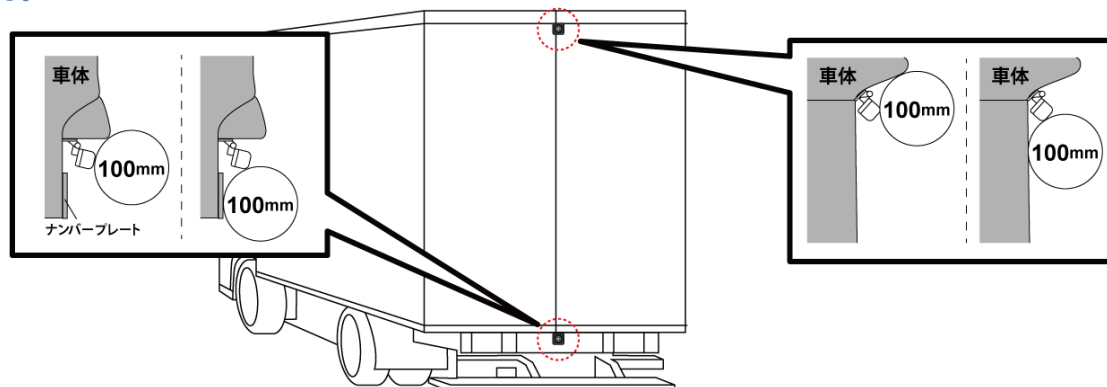
ケーブルコネクタ部は水のかからない車内へ設置してください。
水のかかる部分へ設置する場合は、防水シールで防水加工をしてください。

取付けの注意

- 設置前にカメラの映像(表示向きや角度)をご確認ください。
- カメラを設置する場所の汚れをふき取ってから設置してください。
- 設置する場所は、なるべく左右中央になる位置にしてください。
- カメラが後方の視界を妨げない位置に設置してください。
- カメラの車外設置位置については「道路運送車両の保安基準」に従って取付けてください。
(保安基準は改訂されることがあります。)

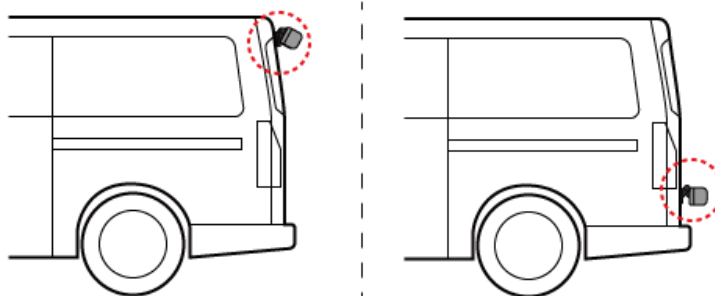
【道路運送車両の保安基準】

カメラブラケットやカメラ本体後部が直径 100mm の球と接触しないように、リアスポイラーやリアガーニッシュなどの下面に装着する。



- カメラが車幅からはみ出さないように設置してください。

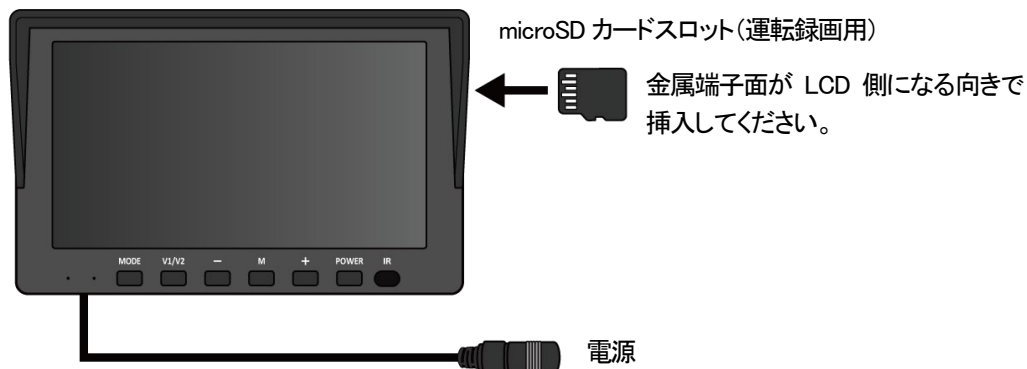
誤った取付け例



- カメラ後部が車両に隠れるように設置してください。
- カメラがナンバープレートのナンバーを隠さないように設置してください。
- ドアやトランク開閉時にカメラやケーブルが干渉しないようにしてください。

機器説明

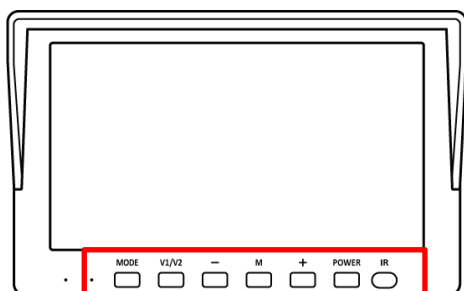
配線図を参照して接続してください。



操作方法

<操作方法>

(注)ボタンは短く押してください。(長押しでは反応しません。)



ボタン	通常時	設定操作
MODE	ペアリング開始	決定
V1/V2	表示チャンネル切替(各チャンネルの全画面表示、分割表示の切替)	
M	メニューを表示／非表示	戻る
-	縮小表示(※分割表示では機能しません。)	項目の左移動
+	拡大表示(※分割表示では機能しません。)	項目の右移動
POWER	電源を ON/OFF	

ペアリング方法

LCD モニターとカメラの組み合わせを決定するために、ペアリング操作が必要になります。
カメラを新規で追加する場合や、カメラのチャンネルを変更する場合は下記の手順でペアリングを行ってください。
他の同機種のカメラと LCD モニターが接続中の場合(Wi-Fi 信号がある場合)は接続できません。

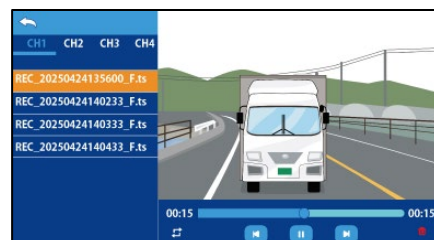
- 1) ペアリングを行うカメラと LCD モニターの電源を入れます。
※ペアリングを行うカメラのみ電源を入れてください。
※直前に他のカメラを接続していた場合は、カメラと LCD モニターの電源を入れ直してください。
- 2) 接続したいチャンネルを全画面表示にします。
※分割表示ではペアリング操作ができません。
- 3) MODE ボタンを押すとペアリングを開始します。
※ペアリング中(秒数カウント表示中)は他の操作ができません。
- 4) ペアリングが完了すると、カメラの映像が表示されます。
※ペアリングができない場合は、カメラと LCD モニターの電源を再度入れ直してください。

録画データの再生・削除

microSD カードに録画されたデータを再生・削除することができます。

- 1) M ボタンを押してメニューを表示し、[ビデオ再生]を選択します。
- 2) +または-ボタンでチャンネルを移動します。
- 3) V1/V2 ボタンでチャンネル内に入ります。
※一番上のファイルがオレンジ色になります。(図 1)
+または-ボタンでチャンネル内のファイルを移動し、MODE ボタンで決定・再生します。

図1



- 4) 決定・再生中に V1/V2 ボタンを押すと、ファイル操作モードになります。(図 2)
 +または一ボタンで巻き戻し/早送り/リスト更新/削除/一時停止を選択でき、
 MODE ボタンで確定します。
 ※別の画面を表示中でも操作対象は3)で選択したファイルです。
- 5) V1/V2 ボタンでチャンネル移動モードに戻ります。

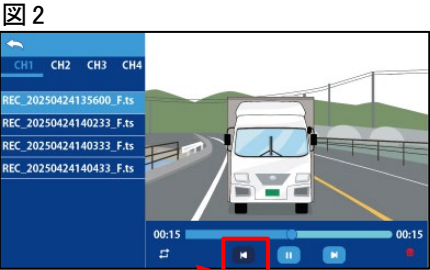


図 2

選択中の操作は暗くなります。

設定

チャンネルごとに設定をします。
 ※分割画面は設定を変更することができません。(※画面、音量などの設定不可)

- 1) 設定したいチャンネルを全画面表示します。(※分割表示ではメニュー表示ができません。)
- 2) M ボタンを押すとメニューが表示されます。

ペアリング	MODE ボタンを押すとペアリングを開始します。	
画面設定	画面の設定をします。	
反転	表示画像の反転をします	
表示設定	分割表示	分割表示の設定をします。
	画面切替	設定した秒数でチャンネル表示を自動で切り替えます。
AI 設定	エリア設定	AI の検知エリアを調整します。
	設定	AI 検知の ON/OFF、検知エリア表示の ON/OFF、検知感度の設定をします。
ビデオ再生	microSD カードに録画されたデータを再生します。	
録画設定	録画設定	録画の ON/OFF を設定します。
	ループ録画	ループ録画の ON/OFF を設定します。
	カード初期化	microSD カードの初期化をします。
システム設定	時刻	日時の設定をします。
	ボリューム	音量を調整します。
	言語	使用言語を設定します。
	初期化	工場出荷状態に戻します。

AI 設定

<エリア設定>

検知エリアの調整ができます。

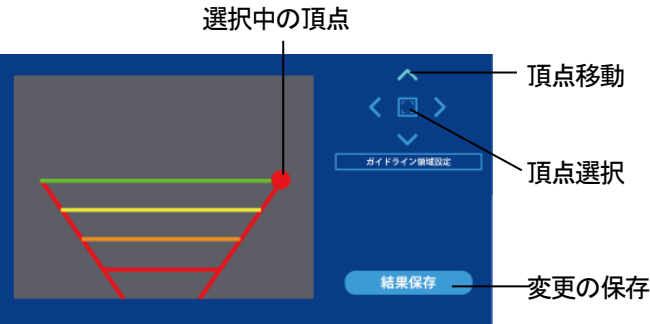
- 1) +または一ボタンで[エリア設定]を選択し、MODE ボタンで決定します。



- 動かしたい頂点の選択
 +または一ボタンを押して、中央の□を選択し、頂点選択モードにします。
 MODE ボタンを押すごとに選択頂点の変更ができます。

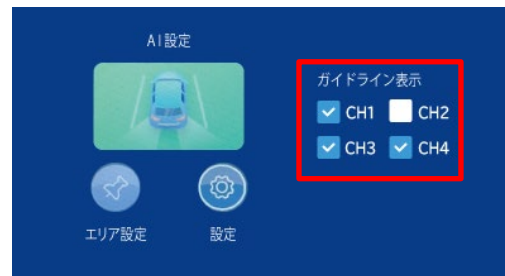
- 頂点の移動
 +または一ボタンを押して移動したい方向(上下左右)を選択します。
 MODE ボタンを押すごとに選択した頂点のラインが移動します。

- 変更したエリアの保存
 +または一ボタンを押して「結果保存」を選択し、MODE ボタンで決定します。



<ガイドライン表示の有無>

各チャンネル別にガイドラインの有無が設定できます。
+または一ボタンでチャンネルを選択し、MODE ボタンで ON/OFF します。



<設定>

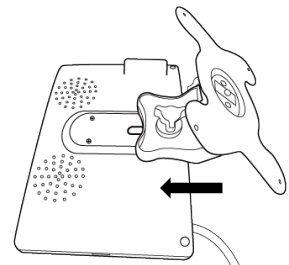
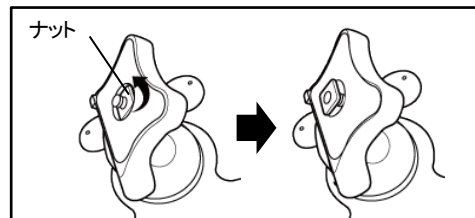
各チャンネル別にアラーム音の ON/OFF や、検知感度の設定ができます。



設置方法

<モニターにスタンドを取付ける>

ナットを緩め、スタンドの隙間にスライドさせ、つまみを回して固定します。

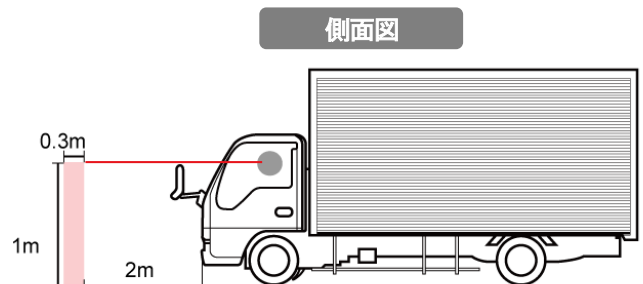
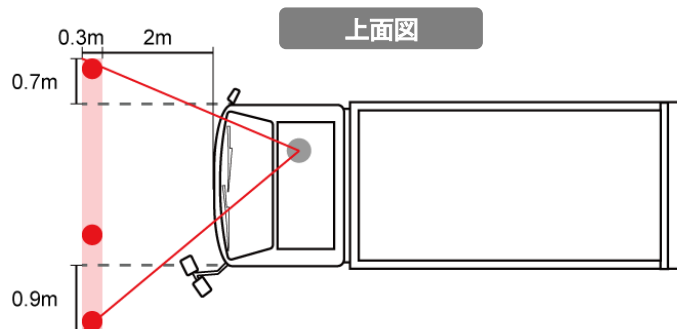


<車内に設置する>

付属の両面テープまたはビス(別売)で車内に設置してください。

取付けの注意

- ダッシュボードに設置する場合は、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。(道路運送車両の保安基準を参照)
【道路運送車両の保安基準】
自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 0.3m の円柱(6 歳児を模したもの)を鏡等を用いず直接視認できること



- 高温または低温になると動作不良や故障の原因となります。(LCD モニター動作温度: 0~50℃)
- 振動や急ブレーキ等で動かないよう確実に固定してください。

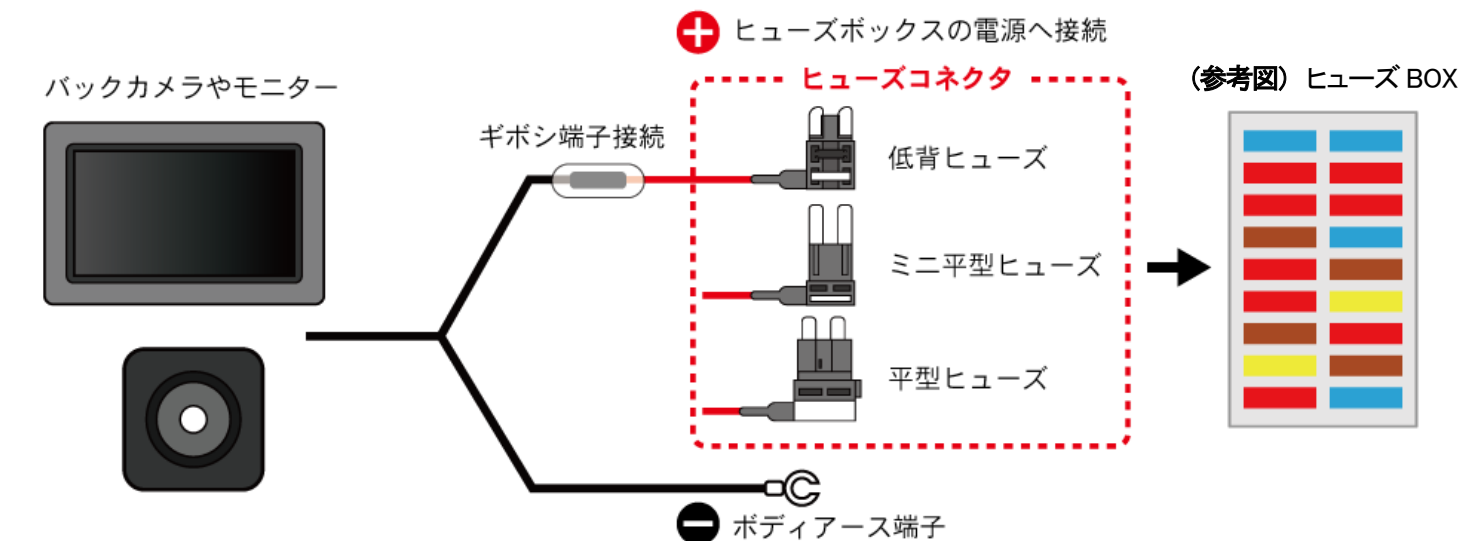
電源・信号について

ACC	車のエンジンオンにより電源が供給される端子です。
GND	ボディアース(車体に接続するマイナス線)です。 ボディアースが取れるのは、むき出しの部分で金属の鉄板になっている所です。(塗装部ではありません)

※機種によってはB+、バック信号線がないものがあります。

ヒューズ BOX からの電源取り出し方法(ACC、B+、GND)

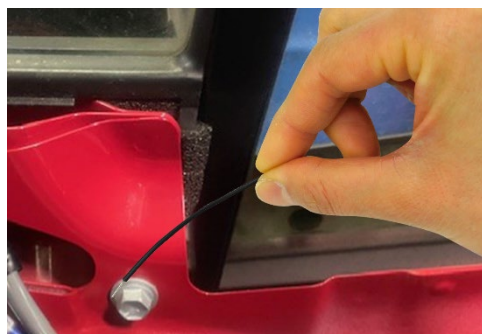
ヒューズ BOX は車種により位置や形状が異なるので、車種ごとに対応ください。
またヒューズコネクタ(別売)を使用する場合は車種に適合したヒューズコネクタを使用ください。



(参考図)

ヒューズ BOX ボルト部分からボディアースをとる

車体ボルトからボディアースをとる



設置配線の専門店依頼の場合

最寄りの車修理店、カーメンテ店等へご相談ください。

設置上の重要事項

【取付けにおける免責事項】

- 1) 本製品を取付ける際、車両本体への穴あけやビス穴加工等が必要になりますが、お客様にて確認後加工をください。
万一本製品の不具合や使用都合により使用をやめる場合、車両本体への加工についての現状復帰はお客様自身で行って下さい。販売店、設置業者（サービスショップ）及び製造元はいかなる場合においても一切の原状復帰要請には対応していません。
- 2) 製品の電源対応電圧（DC12V 又は DC24V）や極性を間違えた場合は、製品保証対象外となります。
- 3) 取付け前に仮配線をして動作確認後、設置ください。
- 4) 製品保証は製品のみ故障や不具合を対象としており、再設置等の費用補償は対象外です。

【安全上のご注意】

- ・商品説明書の“安全上のご注意”をよく読んでお守りください。
- ・商品説明書の“安全上のご注意”及び“設置上の注意”を守らない場合、各種の事故、火災、感電の原因となります。

取付けに必要な工具例（商品により異なります）

ドライバー、電動ドリル、六角レンチ、ハンディリムーバー、ワイヤーストリッパー、ニッパ、ラジオペンチ、ポンチ、カッター、定規、マスキングテープ、ケプラー手袋、融着テープ又はビニールテープ、配線止（結束バンド等）

設置上の注意

- ・ プラスとマイナス経路の短絡はしないでください。
- ・ 作業内容によりケプラー手袋を装着し、手を保護してください。
- ・ 本機を次のような場所には取付けないでください。
前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所。
- ・ 車体のボルトやナットを使用して機器の取付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。
- ・ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。
- ・ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
- ・ 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
- ・ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめて固定してください。
- ・ 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
- ・ 配線図で指定された通りに接続してください。
- ・ コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
- ・ ヒューズ等部分を外したり、切断したりしないでください。
- ・ 電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。
- ・ 本機を車載用として以外は使用しないでください。

設置、配線方法

各製品の説明書を読んで設置ください。

配線場所やリレーBOX への接続は使用する車両に合わせて設置ください。

動作確認

設置前に配線を接続し製品の動作確認をしてください。

設置後に製品の動作確認をして下さい。調整が必要な製品は、各製品の説明書を読んで調整ください。

安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みの上、正しくご使用ください。

●表示の説明

△警告	取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
△注意	取扱を誤った場合、人が損害を負う、または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

●絵記号の説明

⊘	禁止の行為を示します。	❗	実行しなくてはならない内容を示します。
---	-------------	---	---------------------

警告

- ❗ 異常現象(煙、異音、異臭など)が発生した場合は、すぐに電源を抜いて製品サポート又は販売元までご連絡ください。
- ❗ 本製品の取付け及び配線コードが運転やエアバックの動作の妨げにならないようにしてください。ケガや事故の原因となります。
- ❗ 本製品の設置や配線は専門的な知識が必要です。専門知識や技術がない場合は専門技術者にご依頼ください。誤った設置や配線は事故や故障の原因となります。
- ❗ 配線作業時は必ずバッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。外さずに作業を行うとショートや火災の原因となります。
- ❗ 接続端子は奥まで確実に差し込んでください。
- ⊘ 本製品はDC12V～24V 車で動作します。それ以外の電圧車両には取付けないでください。
- ⊘ お客様による修理、分解、改造は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。
- ⊘ 異物、油滴、液体を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ⊘ 視界を妨げる場所、運転を妨げる場所に設置しないでください。
- ⊘ サンシェードをご使用の場合は、本製品をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないでください。高温になり故障や火災の原因となる恐れがあります。
- ⊘ 布をかけるなど本製品の放熱を妨げるような使用をしないでください。発火の原因となります。
- ⊘ 運転中は走行中に操作をしたりモニターを注視したりしないでください。
- ⊘ 本製品や付属品、梱包材はお子様の手の届くところに置かないでください。誤嚥や窒息、ケガの原因となります。
- ❗ 本製品の配線および設置は説明書に従って正しく行ってください。誤った配線や設置は、事故や故障の原因となります。

注意

- ❗ 電源コネクタや端子の汚れは綺麗にふき取って接続してください。また、端子は確実に差し込んでください。不十分な接続は動作不良、感電、発熱、火災の原因となることがあります。
- ❗ 本製品の設置は確実に行ってください。落下してけがや故障の原因となることがあります。
- ⊘ 機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ⊘ 不安定な場所に設置しないでください。落下してけがや故障の原因となることがあります。
- ⊘ 濡れた手で操作をしないでください。感電の恐れがあります。
- ⊘ 車外にカメラを設置した場合は、高圧力での自動洗車は行わないでください。
- ⊘ モニターに同一画面を長時間表示すると、画面が焼き付いてダメージを与えます。電源を切るなどして同一画面を長時間表示させないようにしてください。
- ⊘ モニターの画面に圧力をかけたり、引っかけて傷をつけないようにご注意ください。
- ⊘ 次のような場所では使用及び保管しないでください。(油煙や湯気が直接当たる場所。熱器具、加湿器の近く。可燃性ガスのある環境。炎天下、高温な環境。)

【AI 機能、モニター機能について】

本製品は運転を補助する装置として使用するもので、運転の安全についてはお客様ご自身で十分に確認してください。
AI 機能は画像をもとに判断しています。天候やカメラの状態、服装や装備によって判別しにくい場合、誤作動を起こす場合があります。

- ・撮影データに関しては一切の責任を負いかねます。他者の著作権、肖像権等を侵害しない範囲でご使用ください。
- ・本製品の使用によって発生した損害、被害に関しては一切の責任を負いかねます。
- ・急激な明るさの変化は録画品質が一時的に落ちます。
- ・他の電子機器と電波干渉する場合は、設置場所を変えてみてください。
- ・この機器の保証は国内に限り有効です。
- ・カメラ以外は防塵、防水仕様ではありません。

【無線 LAN について】

本製品の無線機能の使用周波数では、産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、サポートまでご連絡ください。

仕様 ※仕様は予告なく変更される場合があります。

【カメラ】型番:SEC-WCAM-1080P

解像度	200 万画素	レンズ画角	約 120° (対角)
画像	正 像	出力信号形式	ワイヤレス
最低照度	0.1LUX	電源	DC12-30V/1A
防水機能	IPX7 相当	動作温度	-10～50°C
本体サイズ(ケーブル・スタンド除く)		約 80×60×40mm	
質量(ケーブル・スタンド含む)		約 130g	
技適		取得済み	

【モニター】型番:CAR-WLCD-TFAI7HINCH

信号形式	ワイヤレス	LCD	TFT 7 インチ
記録解像度	720P	動作温度	0～50°C
入力チャンネル	4 チャンネル	電源	DC12-30V
メモリー	microSD カード(最大 256GB、V10 以上)		
本体サイズ(スタンド・ケーブル除く)		約 180×120×50mm	
質量(スタンド・ケーブル含む)		約 360g	
技適		取得済み	

※カメラは SSID ステルスです。

サポート

お問い合わせはこちら



お客様サポートサイト

<https://www.broadwatch.jp/support/>

製品保証書

保証期間：お買い上げ日より 1 年間

型番：CAR-S-W-xCH

お買い上げ日

販売店名

※お買い上げ時のレシートも一緒に保管してください。

保証期間内に正常な使用で故障が発生した場合、保証規定に基づき、製品の保証を行います。
※保証規定はブロードウォッチのホームページをご確認ください。ご購入日が記載された書類（レシート、領収書、納品書、保証書、メール等）のいずれかを必ず保管してください。製品保証を受ける際に必要になります。



株式会社 ブロードウォッチ

堺センター 〒590-0961 大阪府堺市堺区寺地町 3 丁 1-7

<https://www.broadwatch.jp/> (ホームページ)
050-3786-0010 (お問い合わせご案内ダイヤル)

MADE IN CHINA

CAR-S-W-xCH2025.05)